

矢部川浄化センター、水キララについて

中村 莉奈

筑後市立水田小学校

わたしは、家で使った水はそのまま川や海に流れていると思っていました。

でも、学校のじゅ業で「矢部川浄化センター」がある事を知りました。そこでは、家から流れてくるよごれた水をきれいにしてくれるきかいがたくさんあって、34人が24時間交代しながら働いているそうです。

水をきれいにするために最初にゴミを取ります。ゴミを流すとつまってしまったり、こしょうの原因になるのでぜったい流したらいけないと思いました。

次に最初ちんでん池、反応タンク、最終ちんでん池をとおってだんだんと水がきれいになっていきます。

反応タンクには、微生物がいて目に見えないくらいの大きさで汚れを食べて水をきれいにしてくれる役割があります。もし、微生物がいなかったら川や海がよごれて魚が安心して泳ぐことができなくなるし、私たちが住む町が汚れたりくさくなって生活しにくくなると思います。

水がきれいになるまでに、いろんなきかいを使っていることを初めて知りました。もしきかいがこわれても、くんれんしているから大丈夫

夫だと浄化センターの人が言っていたので安心しました。流れてきた水がどれくらい汚れていてどのくらいきれいになったか検査もしているそうです。検査の数が22項目もあるのでびっくりしました。浄化センターで24時間働いている人がいるから私達はいつでもきれいな水を安心して使う事ができます。

私達ができる事は、ゴミや食べのこしを下水に流さないこと、微生物は、油が苦手なので、できるだけ下水道に流さないようにしていきたいと思います。

水をきれいにするためにたくさんの方が働いていてくれることが分かって勉強になりました。水を大切に使うと思います。